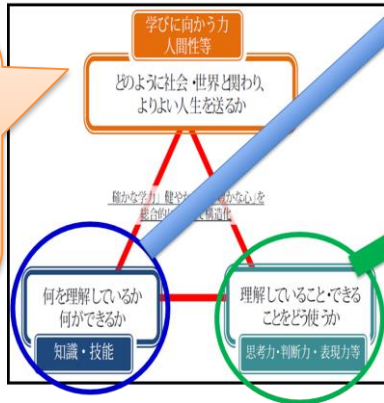


新学習指導要領全面実施に向けて

国語科の「内容」ってどう変わるの？

国語科の「内容」は、資質・能力の3つの柱に基づいて、**〔知識及び技能〕**、**〔思考力、判断力、表現力等〕**の2つの内容のまとまりに整理されました。

「学びに向かう力 人間性等」の内容については、教科及び学年等の目標においてまとめて示されています。



〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項 **(新設)**
- (3) 我が国の言語文化に関する事項

〔思考力、判断力、表現力等〕

- (1) 指導事項
 - 「A 話すこと・聞くこと」
 - 「B 書くこと」
 - 「C 読むこと」
- (2) 言語活動例

↑ 相互に関連し合いながら育成 **Check!!**

言葉の特徴や使い方などの**〔知識及び技能〕**は、個別の事実的な知識のみでなく、**国語で理解したり表現したりする様々な場面の中で生きて働く力**として身に付けることが大切です。そのため、**〔知識及び技能〕**と**〔思考力、判断力、表現力等〕**は、**相互に関連し合いながら育成される必要があります。**

相互に関連し合うとは？

Check!!

2年:「おもちゃ教室」をひらこう(「A 話すこと・聞くこと」)のイメージ(例)

言葉や表現のよさを検証し、日常生活において活用する

新しい言葉や表現を知る

正確に・適切に使えるようにする

意識して話す

日記や作文に積極的に取り入れる

言語活動の中で使う

ヨットカーの作り方を1年生に説明する

〔知識及び技能〕

- 言葉の働き 文や文章 語彙
- 言葉遣い 表現の技法
- 情報の扱い方 音読 読書
- 言葉の由来や変化 など

相互に関連し合いながら育成

〔思考力、判断力、表現力等〕

- 誰に(相手) 何のために(目的)
- 何を(内容)

最も適切な言葉や表現を選ぶ

うまく伝わらなかった

うまく伝わった

質と量を向上させる

途中の順序が分からなく、よほど丁寧にね。

「はじめに」「つぎに」という順番の言葉を入れてみようか。

ふんぞり生地のおもちゃ教室

「伝わらない」時こそ学びのチャンスです！

「相手にうまく伝わらなかった」という実感は、子供が新しい知識及び技能を獲得したり、より適切な表現方法を選択したりしようとする必然性につながります。言語活動をやって終わりではなく、「**正確に・適切に相手に伝わったかどうか**」を基に評価し、次の言語活動や日常生活につないでいくことが大切です。